

寄贈品コーナー

「平塚の空襲と戦災展」

平塚が受けた戦争被害の記録と当時の資料を公開します。

会期：1998年6月12日(金)～7月30日(木)

昭和20年7月16日から17日未明に掛け、平塚市はアメリカ軍による大規模な空襲を受けます。B29爆撃機132機によるこの攻撃は、一晩で44万7,716本もの焼夷弾が投下されます。その数は、一人あたり8.2本におよび、全国で二番目に多い数になりました。この空襲による被害は本宿・新宿・須賀・馬入の旧市街をはじめ、高根・山下・南原・中原・真

土・四之宮・横内・入野・長持、大磯町大磯・寺坂、茅ヶ崎柳島・中島・円蔵・赤羽などの広範囲におよび、少なくとも死者は300人以上、旧市街地では全戸数の70%が焼失しています。今回、戦時下の平塚や空襲に関する資料を展示し、改めて空襲の恐ろしさを実感していただきたいと思います。